



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 44 2020/11/1

●牧師 松村 識

●山梨県甲府市武田3-17-4

●TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105

●http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
奏楽者 渡邊羊子姉  
礼拝当番(下) 佐藤逸子姉  
音響・録音 金光正兄

前奏		
招詞	ローマ6:4	旧 p.305
*讃美	教会福音讃美歌20番	
*交読	詩篇68:1-18	旧 p.999
*信仰告白	教会信仰告白 第7条	
*祈り		松村 識師
聖書	ルツ1:15-18	旧 p.471
黙想		
宣教	「あなたの神は私の神」	松村 識師
聖餐式	教会福音讃美歌 262 (1-3) 番	
讃美	教会福音讃美歌 262 (4-6) 番	
感謝		佐藤逸子姉
献金	教会福音讃美歌 453 (4-5) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 269番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

- 1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。
- 2. 本日は第一主日ですので、聖餐式をしました。主の恵みを新たに歩みましょう。
- 3. 本日は午後より役員会を致します。
- 4. JECAフォーラム109号、特集「教会開拓」を配布しました。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ルツ2:8-13、宣教題「御翼の下に」、交読文詩篇68:19-35、讃美54、-, 439、献金 453 (4-5)、頌栄 269

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	丸山玲子姉
掃除当番	渡邊頌平兄 古屋直之兄
水曜聖研	川久保進兄 イザヤ49章
奏楽者	志村泉兄
証し	
週報印刷	石山堅持兄
食事当番	-
	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	加藤美樹姉
音響・スライド	金光正兄
スライド作成	-

## ●今週/今後の予定

- 11/2 (月)  
賛美フラ
- 11/8 (日)  
礼拝後祈祷会
- 11/15 (日)  
成長感謝礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会	
男	-	18		3	2	
女	-	30	-	2	2	
合計	0	48	0	5	4	
CS						
その他	主日礼拝は会堂1F男2、女6、2F男8、女8、CSは、zoom、ライブ配信接続 20					

## ● 行方も知れず

～先週の宣教要旨～

創世記12:1-9

アブラムは異教徒の家庭に育ちました。11章31節を見ると、父テラとアブラムはハラニに住みついてたことがわかります。そのアブラムに、神さまは「わたしが示す地へ行きなさい」(1節)と語りかけられます。生まれた国と父の家を出て主の示された地へ行くとはどういう意味でしょうか。それは、自分のことを「わたし」と紹介される神さまの導かれるままに旅する日々を送るということです。

神様は、アブラムを大いなる国民とし、アブラムを通して地上のすべての民を祝福するとも語りかけられます。それは考えられないほどの祝福でした。

しかしアブラムには、行く先が明かされていませんでした。旅がいつまで続くのかもわからない。にもかかわらず、アブラムは神様の語りかけに従い、ハランの地から出かけたのです。彼は神の意志に従い、人生の主導権を神にゆだねたのでした。

7節で主はアブラムに「この地を与える」と言われ、とうとうカナンが約束の地であることが明らかになります。信じて歩み出したときに、約束の地が示されたのです。みことばは、足をともしずともしび。私たちは弱いので、ともしびによって示される一歩先を確認し、主と共に歩むのです。

祝福とは何でしょうか。それは、すでに天の御国へと招かれている、という事実です。さらには、主の御手の中で生かされるということです。主が私たちの人生の主人となってくださいます。主がともにいてくださるということ自体が祝福なのです。神様は私たちを最も良い道に導いてくださいます。このお方に信頼し、主が与えてくださっている恵みの歩みに応答する旅路を歩みたい、そう願わされるものです。

## ● 大泉聖書教会との交わり

～今週の声～

群馬県大泉町、たとえば言うなら、群馬の昭和町です。クルマのスバルの工場から味の素の工場、パナソニックの工場など工場が立ち並ぶところ、昭和町と同じように税取によって群馬県で最も潤い、また工場労働者として、外国人人口が約2割、そのうちブラジルやペルーの日系人1割。町中にはポルトガル語の看板が連なり、北関東3県の中では人口密度が最も高い町です。

教会の始まりは1978年のこと、川上政孝師の開拓伝道に始まりました。そして西甲府キリスト福音教会におられた山崎昭宏師が1988年から働きながらのご奉仕をされました。それから長い間、支援を続けています。山崎師が高齢になって協力牧師となってからは、田原昭肥師が短く奉仕した後、2018年より片柳百合子師が牧師として奉仕をしています。山崎師は日系ブラジル人教会の協力牧師としての奉仕も続けています。

教会の始まり、それは何もないところから始まります。昭和町キリスト教会の始まりのときもそうでした。そして、その後、大きな成長をする教会もあれば、なかなか前進できなかったり、停滞したり。それは、私たちの教会もまた同じです。それでも、その地に立てられた教会として精一杯主に献げている兄弟がいるのです。

だからこそ、支援をする。いや重荷をとみに負うことは私たちがともに与えられた大切な務めだと思うのです。パウロもコリントに行ったときには孤立無援でした。主が備えてくださったプリスカとアクラとともに天幕作りで生活を立てて伝道しました。ですから、働きながらの伝道はテントメーカーと呼ばれます。やがてマケドニアの諸教会から届いた献金によって、伝道に専念するようになりました。それは、主にある教会が自分のところだけではない、世界宣教というともなる使命をいただいているからです。献げものとともに祈りとりなしをともにしたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●11/1 (月) エレミヤ32:26-44

畑を買ったエレミヤに、再び回復するとき、再び土地が売り買いされる希望のときがくることを主は告げます。そのことばはエレミヤにとってどんなにか力強い励みだったのでしょうか。あなたに語られている励みはどんなことですか。

### ●11/2 (火) エレミヤ33章

エレミヤに語られた回復のメッセージ。それは今の状況からは理解を超えた大いなる事(3)でした。そのように主がなさるのは何故なのでしょう。

### ●11/3 (水) エレミヤ34章

二つに断ち切られた子牛の間を通ったとは、契約を破る者はこのようにされることを誓う契約のしるしです。奴隷の解放という契約を結びながらも心翻す彼らに対するさばきが告げられています。あなたは十字架の契約にふさわしく歩みをしていますか？重ね合わせてみましょう。

### ●11/4 (木) エレミヤ35章

レカブ人はカナン占領時から、そこに住みながらぶどう酒を持たず、土地を持たず、先祖ヨナタブの教えに従って生きてきました。それを守り通したレカブ人、一方で、ユダとエルサレムは神のことばをも聞かなかった。あなたはどちらを選びますか？

### ●11/5 (金) エレミヤ36:1-20

エレミヤの口述をバルクは書き記し、それを主の宮の書記と首長たちに聞かせると彼らは身を隠すようにと告げます。神のことばを守るのは命がけです。あなたはそのような態度でみことばを聞いていますか？

### ●11/6 (土) エレミヤ36:21-32

バルクが書き記したエレミヤの口述の預言をエホヤキム王は三、四段読む度に暖炉に投げ入れ焼き尽くします。一方、主はもう一度そのことばをエレミヤに書き記させます。それが消されることのないためです。

### ●11/7 (日) エレミヤ37章

ゼデキヤ王はエレミヤに祈りを求めるのにも関わらず、主のことばに聞き従わず、牢に繋ぎながらもその言葉を聞き、しかし従わず、その歩むところは右往左往です。徹底して主に聞き従うためには何が欠けていたのでしょうか？

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P43-44 東松山福音教会、皆野キリスト教会、鶴ヶ島聖書教会、川鶴チャペル



## 今週のみことば

ルツ1:16b あなたの民は私の民、あなたの神は私の神です。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 45 2020/11/8

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番(下) 丸山玲子姉  
 音響・録音 金光正兄

前奏		
招詞		旧 p.305
*讃美	教会福音讃美歌54番	
*交読	詩篇68:19-35	旧 p.1000
*信仰告白	教会信仰告白 第8条	
祈り		松村 識師
聖書	ルツ2:8-13	旧 p.473
黙想		
宣教	「御翼の下に」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 439番	
感謝		丸山玲子姉
献金	教会福音讃美歌 453 (4-5) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 269番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は礼拝後祈祷会を行います。ネット礼拝の兄弟は別途お知らせしたzoomに接続ください。

●3. 次週は成長感謝式をCSの中で行い、また、礼拝でも感謝とともに祝福を祈ります。

●4. 今月第四週、22日(日)の礼拝後、できる範囲で大掃除を行いますので、ご協力ください。

●5. 29日(日)からはアドベントです。今年のクリスマスはコロナの制約がありますので、今のかたちで、20日(日)にクリスマス礼拝を、24日(木)にイブ礼拝を行います。別途、クリスマス行事の説明を配布しますので、ご覧ください。①飲食を伴う祝会などは残念ですが行いません。②周りへ呼びかけて礼拝にお誘いすることが難しいため、ライブ配信の案内ハガキとチラシを用意します。これを用いてくださるようお願いいたします。③礼拝の中などで、ハンドベルなどの演奏等の録画を織り交ぜる予定です。アイデアやご奉仕いただける兄弟は役員会までお申し出ください。コロナ禍の中ではありますが、主イエス様の福音を伝える機会として祈りつつ備えましょう。

●6. 昨年10月の台風19号被害にあった須賀川めぐみキリスト教会(福島県)が会堂のかさ上げ工事が完了し、献金の感謝とともにご報告をいただきました。これからの祝福を祈りましょう。

●次週礼拝予定

聖書箇所1サムエル3章、宣教題「主よ、お話しください」、交読文箴言22:1-6、讃美52、-, 391、献金 453 (4-5)、頌栄 269

●奉仕案内 (主日奉仕は次週のもので)

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	渡邊恵太兄
掃除当番	佐藤高嶺兄 佐藤逸子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ50章
奏楽者	金戊京姉
証し	-
週報印刷	渡邊恵太兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	川久保玲子姉
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	-

●今週/今後の予定

- 11/9 (月)  
賛美フラ、全国運営委員会 (牧師)
- 11/10 (火)  
全国総会web説明会 (牧師)
- 11/15 (日)  
成長感謝礼拝
- 11/22 (日)  
大掃除

●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	3	21	-	3	3
女	4	29	-	2	2
合計	7	50	0	5	5
CS	5				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女4,2F男9、女9、CSは、zoom、ライブ配信接続 20				

## ● あなたの神は私の神

～先週の宣教要旨～

ルツ1:15-18

ルツ記のストーリー、それを読むと、それは世界の片隅、しかも飢饉で逃れ、不幸続きの家族の途方に暮れるようなできごとです。しかし、そこに神は目を留めてくださるのです。それは、私たちにとっても大きな励ましです。いったいこの小さな私の存在など、何の役にも立ちたくない。誰からも忘れられてしまったかのようにどうでもいいように思えることがあるのです。ところが、神はそんな者たちに目を留めてくださっています。

出来事の次第は聖書にある通りですが、悲しみの連続。飢饉でのモアブへの疎開、そこで息子たちに嫁を迎える慰め。しかし、それは長くは続かず、男たちはみな死に、残された女たち。ナオミはユダが再び回復したことを聞いて帰還することにします。「主が私を卑しくし、全能者が私を辛い目にあわせられた。」その悲しみを抱えて帰るのです。ただ嫁のルツがついてきてくれるのです。

ルツは、どうしてこのような選択をしたのでしょうか。第一に彼女の選択は、強いられたものではありません。自分で選び、自分で決めたことです。ナオミは別の選択を勧めました。それを押し切って彼女が決断したのです。それが自立ということです。自ら考え、自ずから決断し、自ずから行動すること。それが自立であり人格です。第二に彼女は信仰に立ちました。悲しみの連続、そこに神がいるのかと思うような現実。しかし、彼女は「あなたの神はあなたの神」、「私の神は私の神」とは言わず、「あなたの神は私の神」と告白するのです。第三に彼女は献身します。別のことばで言えば愛です。自分のために生きる人は、何も残しません。しかし、他者のために生きる人は多くの実を残します。その選択を彼女はしました。

これらは男も女も関係なく問われています。私はどうあるべきか。自らの選択を問い直すチャレンジをしようではありませんか。

## ● 秩序と品位

～今週の声～

米大統領選は前回もそうだったのですが、混迷を極めました。選挙方法は決められた手順とルールがあるはずですが、そんなルールはお構いなしに自分が有利になった時点で開票をやめろだとか、裁判所に提訴するだの私たちの感覚からすると全く理解できないような発言が相次ぎます。また、その選挙戦も確信もって自分の政策をアピールすることよりも、対戦相手をけなすことに終始するような発言に心が痛みます。

米国の選挙制度は複雑です。直接選挙制ではなく、間接選挙。そして、各州の投票で1位になった候補者が、その州の選挙人を全て獲得する「勝者総取り方式」が採用されています。それに加えて郵送投票。その点切も各州毎に異なっています。ですから、選挙結果が出るまでに時間がかかります。合衆国というだけあって、州ごとの権限と責任が強く、それを合わせているからです。

はたから見ていると、これぞ大統領！と信頼できるような人、そこまでとは言わずとももう少しましな、というよりまっとうな人が出てこないのか。そんなことを考えます。しかし、自国をみればそれはまた同じことですし、歴史上の人物も欠けだらけです。聖書の中に出てくる王たちもまたしかり。そもそもそんな批判じみたことを考える自分自身はどうなのかといえ、それもまた心許ない自分自身です。実にこの世の権力者というものは立たされて立っているに過ぎません。

しかしながら、そこに立たされた人には、それにふさわしい品位を保つことが求められます。秩序を生み出す大切な務めを委ねられているのですから。自らの中に矛盾を抱えていては役を果たすことはできません。王の王であられるお方の前に立っていることを覚えて正しい恐れを持つことができるように。そして与えられた務めのゆえに謙遜にその務めを果たすことができるように私たちも、とりなし祈りたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●11/9 (月) エレミヤ38章

この章の一件によって明らかになったのは、王は国民のことを思ってではなく、自分の体面のためだったということです。あなたの心はどうでしょうか。

### ●11/10 (火) エレミヤ39章

いよいよエルサレムの陥落です。多勢に無勢、逆らいようもなく攻め取られます。私たちもまた、世界に生きています。そしてそれをすべ治められている主の御前に何を受け取るべきでしょうか。

### ●11/11 (水) エレミヤ40章

エレミヤは釈放され、自由の身となり、国に残ります。総督とされたゲダルヤはバビロンに仕える道をとりますが、命を狙う噂を耳にします。このようなときに頼りにするものは何でしょうか。

### ●11/12 (木) エレミヤ41章

噂通りにゲダルヤはイシュマエルによって殺されます。しかし、カレアハの子ヨハナンがイシュマエルを追うと、彼に従っていた者たちは身を翻してヨハナンに従い、イシュマエルは殺されます。誰に従ったらいいか、右往左往する中で、選び取るべき大切なことは何でしょうか。

### ●11/13 (金) エレミヤ42章

ヨハナンはじめ残った者たちはエレミヤに祈りと歩むべき道を求めます。彼はここに留まることが主のみどころであり、エジプトに避けるなら、そこで打たれると預言します。ここに留まるとは総督を打ち殺したことを問われること。難しい選択にあなたなら、預言のことばに聞き従いますか？

### ●11/14 (土) エレミヤ43章

エレミヤの預言は「偽り」と言われ、彼らはエジプトに行きます。エレミヤは一方主のことばをあくまで告げます。その意味することは何でしょうか。

### ●11/15 (日) エレミヤ44章

エジプトに逃げたユダヤ人にエレミヤを通して主はさばきを語ります。その一番の理由は何ですか？あくまで民は「私たちは従うわけにはいかない」と頑なに拒みます。ユダで起こったこと、エルサレムの滅亡を見ているにもかかわらずです。あなたの心の中に頑なな思いはありませんか。それを捨てて主に従うことを選びとるには何が必要ですか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお返しください。

## ●今週の祈り

P45-46 川越聖書教会、みよし福音  
キリスト教会、西堀福音キリスト教  
会、武蔵台キリスト福音教会



## 今週のみことば

主があなたのしたことに報いてくださるよう  
に。あなたがその翼の下に身を避けよう  
として来たイスラエルの神、主から、豊かな  
報いがあるように。」

ルツ2:12



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 46 2020/11/15

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 金戊京姉  
 礼拝当番(下) 渡邊恵太兄  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	ローマ6:4	新 p.305
*讃美	教会福音讃美歌52番	
*交読	箴言22:1-6	旧 p.1121
*信仰告白	教会信仰告白 第9条	
祈り		松村 識師
聖書	1サムエル3章	旧 p.483
黙想		
宣教	「主よ、お話しください」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 391番	
感謝		渡邊恵太兄
献金	教会福音讃美歌 453 (4-5) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 269番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は成長感謝礼拝でした。子どもたちの成長を感謝し、その祝福とともに祈りましょう。

●3. 次週、22日（日）の礼拝後、大掃除を行います。ワックスがけと窓掃除が主な作業です。ご協力ください。また、このため、礼拝後の祈祷会は次回、29日に行います。

●4. 今週、17日（火）、西関東地区教職者会がzoomにて行われます。地区の諸教会のためにも祈りましょう。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ルツ3:10-11、宣教題「主があなたを祝福されるように」、交読文詩篇69:1-18、讃美240、440、献金453 (4-5)、頌栄 269

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	富岡稔雄兄
掃除当番	渡邊恵太兄
	渡邊羊子姉
水曜聖研	松村牧師
	イザヤ51章
奏楽者	渡邊周美姉
証し	-
週報印刷	渡邊頌平兄
食事当番	-
	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	菊川静恵姉
音響・スライド	黒田創兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 11/17（火）  
西関東地区教職者会（zoom）
- 11/22（日）  
大掃除

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	20	-	3	2
女	3	34	-	4	2
合計	4	54	0	7	4
CS	5				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女3、2F男9、女11、CSは、zoom、ライブ配信接続 25				

## ●御翼の下に

～先週の宣教要旨～

ルツ2:8-13

ユダに帰って来たナオミ、一方、ルツにとっては見知らずの地です。そこで落ち穂拾いに出ます。生きる術のない二人にとって、これしか方法がありません。しかも、彼女はナオミより先に「畑に行かせてください…」と自ら行動します。自立した人は指示待ちではなく、自ら行動します。自立のしるしは自由です。人の目を気にしてでもない、強いられてでもない、自らの責任で行動します。

そのように生きることを支えるのは信仰です。自分の力だけでどうにかしようとしても辛いです。ルツもそうです。夫に先立たれ、一家に男手を失い、おそらく年老いた姑を支えるために自分が立ち上がらなければならない。御翼の下、それは母鳥が巣の中で、ひなを守り、餌を運んで必要を備えるように、どんなことがあって神が保護を与えてくださるといふ信仰です。

そこに畑の持ち主ボアズがルツに目を留めるのです。キーワードは「親切」です。並々ならぬ親切です。私が惨めだからって哀れまないでください。自分でできます。なんて言ったらことは終わりです。感謝して親切を受けるすがすがしさがここに 있습니다。そしてボアズはその理由をこう説明します。その「親切」は神の報いであると。

このボアズの行動、「親切」は神の愛を表しています。「親切」という言葉、ガラテヤ5章に出てくる「御霊の実」の一つです。神の御霊が私たちを導いて与えてくださるものです。この分断された世界で、主の恵みを受けた者は、よき通りよき管として遣わされているのです。そして、ともに神の恵みを喜ぶように置かれているのです。私たちもそのような恵みの器としてともに神の愛を喜び、どんなに暗い場所であったとして、神が御翼の下に守り、道を開いてくださることを信じ、恵みを分かち合い、「親切」の実を結ぶ歩みをおささげしようではありませんか。

## ●テクノロジーとコミュニケーションと

～今週の声～

今年は2020年、ちょうど2000年、その年は世紀をまたぐ年、生まれた子どもはミレニアムベビーと呼ばれました。そして、21世紀の始まりである2001年生まれは新世紀ベビーと呼ばれます。その子どもたちが成人を迎え、世代は入れ替わっていきます。この世代、そして、少し前の1990年代以降生まれは、デジタルネイティブと呼ばれ、物心ついたときからインターネットを使う世代です。

通信手段やコミュニケーションのあり方が大きく変わりました。私の若い頃は、なんて言ったらすっかり旧世代丸出しですが、テレビも電話もない生活。どうやっていたんだろうと思います。梨大の門の前に公衆電話があつて、10円玉をたくさん集めて、あるいは100円玉・・・いや、テレホンカードはあつたかな？電話するのも私からだけで、私には電話できませんでした。

それが、いつでもどこでも連絡が取れるようになると、約束に遅れそうでも、「ちょっとゴメン」とメールを入れれば許されるようになり、待ち時間の暇つぶしもさほど困りません。みんなに一斉に連絡もできるようになり、それはそれは便利なものです。一方、面と向かって対話するしか手段がなかった時代からすると、確かに時間や手間はかかりませんが、心遣いや間というものが失われてはいないだろうかと思うこともあります。

また、残念なことに、面と向かってではないため、キツイことばのメールを送りつけたら、子ども世界ではSNSいじめや仲間はずれなんてこともしばしば耳にします。テクノロジーの発展とともにいままでなかったような心ない出来事も耳にします。一方、人の本質は変わりはありません。罪深い私たち人間。ツールは形を変えても心が問題なのです。次の世代を担う子どもたちによき模範を、そして、誰が見ていなくとも神様に喜ばれること、隣人を愛することを教え、健全に育つことを祈りたいものです。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●11/16 (月) エレミヤ45章

厳しい主の預言の前に、エレミヤは「ああ、哀れなこの私・・・」と嘆きに嘆きます。5節最後のことばはどういう意味でしょうか。考えてみましょう。

### ●11/17 (火) エレミヤ46章

エジプトはユーフラテス河畔のカルケミシュまで勢力を延ばそうとしますが、バビロンのネブカデレザルはこれを打ち破ります。逆に、バビロンはエジプトまで支配下に置くことが預言されます。そのような大国の狭間にあつて、ヤコブ、イスラエルの回復の預言を与えます。これは神のどのような思いを表しているのでしょうか。

### ●11/18 (水) エレミヤ47章

かつてイスラエルの敵となり悩ましてきたペリシテ、彼らは打たれ、そして、その絶ち滅ぼされる日について語ります。大きな歴史の流れのなかで、このことは主に対して、イスラエルに対して、何を語ることでしょうか。

### ●11/19 (木) エレミヤ48:1-25

これまたイスラエルの敵であったモアブに対するさばきが語られています。彼らはケモシュという偶像に抛り頼んでいました。それが砕かれます。私たちの今力あるように見えるもの、それらに対して主はどうなさるのでしょうか。

### ●11/20 (金) エレミヤ48:26-47

モアブに対するさばきが続きます。高ぶりに対する厳しいさばきのことば、それは私たちに何を問いかけているのでしょうか。あるいは私たちの国に対して何を語りかけているのでしょうか。

### ●11/21 (土) エレミヤ49:1-22

アモン人とエドム人に対するさばきのことば、12節のことば、飲まなければならない杯、それはゲッセマネの祈りと十字架でした。このようなさばきを受けるべき者が赦されている恵みを覚えましょう。

### ●11/22 (日) エレミヤ49:23-39

ダマスコ、さらにケダルとハツオルの王国に対するさばき、さらにエラムに対しても宣告されます。一方、これまでのさばきはみな、「繁栄を元通りにする」とのことばがあります。異邦人にも救いの手が及ぶことについて、主の救いの大きさを覚えましょう。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P49-50 那珂湊キリスト教会、大洗キリスト教会、水戸下市キリスト教会、笠間キリスト福音教会



## 今週のみことば

主が来て、そばに立ち、これまでと同じように、「サムエル、サムエル」と呼ばれた。サムエルは「お話してください。しもべは聞いております」と言った。

1サムエル 3:10



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 47 2020/11/22

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 渡邊周美姉  
 礼拝当番(下) 富岡稔雄兄  
 音響・録音 黒田創兄

前奏		
招詞	ローマ6:4	新 p.305
*讃美	教会福音讃美歌240番	
*交読	詩篇69:1-18	旧 p.1001
*信仰告白	教会信仰告白 第1条	
祈り		松村 識師
聖書	ルツ3:10-11	旧 p.475
黙想		
宣教	「主があなたを祝福されるように」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 440番	
感謝		富岡稔雄兄
献金	教会福音讃美歌 453 (4-5) 番	一般・JECA諸基金
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 269番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は第四週ですので、JECAの諸基金のための献金をしました。それぞれ用いられるように祈りましょう。

●3. 本日は礼拝後、大掃除を行います。昨日、外回りと窓掃除などをしましたので、本日はワックスがけをします。ご協力ください。また、このため、礼拝後の祈祷会は次回、29日に行います。

●4. 次週よりアドベントです。クリスマスの案内ハガキを用意しました。クリスマス礼拝とイブ礼拝の案内で、少し早いのですが、お用いください。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ルツ4:7-12、宣教題「進んで損をする話」、交読文詩篇69:19-36、讃美59、-, 58、献金 453 (4-5)、頌栄269

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	富岡貞子姉
掃除当番	大山きく子姉 宮本順子姉
水曜聖研	川久保進兄 イザヤ52章
奏楽者	志村泉兄
証し	-
週報印刷	川久保進兄
食事当番	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	窪田光子姉
音響・スライド	中原一真兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

●11/29 (日)  
アドベント～  
礼拝後祈祷会

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	2	20	-	3	3
女	2	34	-	4	2
合計	4	54	0	7	5
CS	5				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女3,2F男10、女12、CSは、zoom、ライブ配信接続				

## ●主よ、お話してください

～先週の宣教要旨～

### 1サムエル3章

今日はサムエル記から、子どもたちの成長を願って、なすべきこと、心に留めるべきこと、祈り求めるべきことを聞こうと思います。

1, 2章にサムエル誕生のいきさつが記されています。子どものいないハンナ、「万軍の主よ。もし、あなたがはしための苦しみをご覧になり、私を心に留め、このはしめを忘れず、男の子を下さるなら、私はその子を一生の間、主にお渡しします。そしてその子の頭にかみそりを当てません。」(1:11)と祈り与えられたのがサムエルです。その祈りの通りにハンナはサムエルが乳離れすると神殿のエリのもとにささげます。子どもは誰のものでしょうか。子どもは自分の所有物ではありません。神がこの子を育てるようにと預けてくださったものです。そして、やがて手放さなければならぬのです。

エリのもとに預けられたサムエルは主に仕えます。そこで、主が呼ばれるのです。サムエルは「お話してください。しもべは聞いております」と答えます。神のことばをそのままその通りに聞くということが人にとって最も大切なことです。「信仰は聞くことから始まります。聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。」(ローマ10:17)というみことばがあります。私たちが子どもたちとともに聞くべきことは、御霊の語りかけです。それは、一人一人に語りかけられる声です。そして、その声は私たちをキリストへ導きます。それによって人は生きるのです。

サムエルがここで神から聞いたことばは厳しい「宣告」でした。このことばを聞いたサムエルは恐れます。人は、神のことばを聞くよりも人目が怖いのです。しかし、神がそこに置いてくださっているのは、神のお役に立ち、人のお役に立つためです。勇気を持って言わなければならないことを言い、勇気をもって行動しなければならないときがあるのです。それを大人が模範を示し、子どもたちが生きることができるよう祈りたいと思います。

## ●コロナの第三波とこれから

～今週の声～

これまでで最も感染者数の多く報告されている第三波がやってきました。第一波のときには、検査態勢が整ってはいませんでしたから、実際には検査を受けられず陽性だった人たちがもっとたくさんいたことでしょう。夏の第二波では、検査態勢も整いましたが、若い人たちが多かったと言います。ところが、今度は重症化率も上がっています。

冬の時期は乾燥した中で長くとどまるウイルスが感染を拡げるとも、換気の不足とも言われますが、これからどうなるのか。条件的には何一つ好転の要素はまだありません。むしろ寒さと乾燥の中、インフルエンザの流行が冬に来るように、感染リスクは高くなる状況がこれから続くでしょう。グーグルがAIによる感染予測を発表しました。どのようなアルゴリズム(計算方法)になっているのかわかりませんが、その予測値を上回る勢いであることは確かです。

とはいえ、日頃から様々な感染対策をしながら生活している私たちはこれ以上何をすればいいのか。いままでしてきたことをしっかり続けることが今できることなのでしょう。そして、不自由な生活の中にあっても耐え忍ぶ心、小さなことに喜びを見いだすこと、守られ与えられている感謝、それはどんな時にも、どんな場所でも、主にあって生きる者がいただいていることなのだと思うのです。

いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

すべてのことにおいて感謝しなさい。

これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。

1テサロニケ5:16-18

このみことばを心に刻んで歩み進みたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●11/23 (月) エレミヤ50:1-20

バビロンが滅ぼされる日が来る。それはペルシャによってであるが、20節にあるように、イスラエルは赦される。世界大の出来事、その中に働いている主。私たちに何を問いかけていますか。

### ●11/24 (火) エレミヤ50:21-46

続くバビロンの敗北、国と国との覇権争いのように見えるが、それは34節にあるように、「万軍の主」のなさること。私たちはどのように今の時代と世界を見分けるべきでしょうか。

### ●11/25 (水) エレミヤ51:1-19

バビロン、それも神によって打たれる。9節にある神のさばきは正しくなされる。この世にあって、今、大手を振っているように見えるものであっても、神が時を定めておられることを覚え、慰めとしよう。

### ●11/26 (木) エレミヤ51:20-44

「復讐は主のもの」(ヘブル10:30)と後に語られます。そのように、神が報復されるそのときに委ねるとき、確かに主がそのことをなされる、その様はあなたにとってどのような慰めですか？

### ●11/27 (金) 詩篇85篇

10節にあることは、「恵みゆえの赦し、まことゆえの贖い、義のゆえの御怒り、回復ゆえの平和」です。神がそのように救いに招いてくださっていることを覚えましょう。

### ●11/28 (土) 詩篇86篇

悩む、貧しい者の祈り、この詩篇は一貫して信頼をもって訴え続けています。それも高ぶる者、横暴な者(14)に心を悩まされるような時です。この詩篇のダビデの信仰に学ぶことは何ですか。

### ●11/29 (日) イザヤ9:1-6

メシヤ預言。救い主の誕生を告げる預言のことばです。その救い主はどのようなお方と言われ、なにゆえに主がこれをなしてくださると言われていますか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P51-52 石岡キリスト教会、岩瀬キリスト教会、小川キリスト教会、八郷キリスト教会



## 今週のみことば

ルツ 3:10a ボアズは言った。「娘さん、主があなたを祝福されるように。あなたが示した、今回の誠実さは、先の誠実さにまぎっています。」



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 48 2020/11/29

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 田中貴吏兄  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番(下) 富岡貞子姉  
 音響・録音 中原一真兄

前奏		
招詞	ローマ6:4	新 p.305
*讃美	教会福音讃美歌59番	
*交読	詩篇69:19-36	旧 p.1003
*信仰告白	教会信仰告白 第2条	
祈り		松村 識師
聖書	ルツ4:7-12	旧 p.476
黙想		
宣教	「進んで損をする話」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 58番	
感謝		富岡貞子姉
献金	教会福音讃美歌 453 (4-5) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 269番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日よりアドベント（待降節）です。主の御降誕を喜び、来臨を待ち望んで過ごす時としましょう。アドベントの聖書日課を配布しましたので、お用ください。また、クリスマス礼拝とイブ礼拝の案内もお用ください。

●2. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●3. 本日は礼拝後、祈祷会を行います。zoom参加の兄弟は別途メールにてお知らせしたidを入力して参加ください。

●4. 次週は第一主日ですので、聖餐式と午後より役員会があります。

●5. 教会連合の全国総会が、郵送にてもたれました。

つつじが丘キリスト教会（東京）、十日市場めぐみキリスト教会（神奈川）、国分寺キリスト教会（香川）、福岡聖書教会（福岡）の4教会が新たに加盟し、加盟教会数は194教会になりました。

また、新全国運営委員12名が選挙によって選出され、松村牧師も副委員長として奉仕することになりました。運営委員長は若葉キリスト教会（北海道）の松元潤師が選出されました。コロナ禍の中の教会連合の運営のためにもお祈りください。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所マタイ1:1-17、宣教題「罪深い人の中に来られた救い主」、交読文ルカ1:46-55、讃美62、-, 101、献金267、頌栄 270聖餐式259

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	田中貴吏兄
掃除当番	富岡稔雄兄 中村直美姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ53章
奏楽者	金戊京姉
証し	-
週報印刷	川久保進兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	アドベント
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

●12/6（日）

アドベントII

聖餐式

役員会

●12/20（日）

クリスマス礼拝

●12/24（木）

イブ礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	2	20	-	3	3
女		35	-	4	2
合計	2	55	0	7	5
CS	7				
その他	主日礼拝は会堂1F男2、女2,2F男10、女11、CSはzoom、ライブ配信接続23				

## ●主があなたを祝福されるように

～先週の宣教要旨～

ルツ3:10-11

ナオミとルツは大きな喪失体験をして、ユダに戻ってきました。聖書の中で、最も大きな喪失体験をしたのはヨブでしょう。友人たちが慰めに訪れますが、やがて、ヨブを責め立てます。実に人間というものの慰めることも、慰められることも難しいものです。

「一人なら打ち負かされても、二人なら立ち向かえる。三つ撚りの糸は簡単には切れな

い。」(伝道者4:12) のことばのように、ルツとナオミは神と共に生きています。人というものの、自分のためだけに生きていたら、喪失を嘆くことしかできません。ルツはナオミのために、ナオミはルツのために何かをしよう、そう思ったとき、前を向いて進むのです。人は誰かの誤に立つことを喜びとして生きるのです。同じ経験を通った者同士がその心を理解して麗しく支え合うのです。

ナオミはルツの幸せのために結婚の段取りをします。ユダヤ人には神からの相続地とそれを守る家系と結びついた結婚をしました。ルツが夫なき後、この家の嫁として生きる道というのは、兄弟がいなければ、近い親戚から夫を迎えなければなりません。ボアズは夫候補として申し分ない。しかも、並々ならぬ親切！そして、ちょっとイレギュラーな求婚は、正式な結婚を申し込む立場にはないナオミとルツができる精一杯のことでした。

そこでボアズは即決即断です。おおよそ、人生で大切なことを決めるとき、それは長い時間を要することは多くありません。ボアズにはルツに対する評価、「誠実」が確かであり、私もそこに加わろうという決断なのです。神の御前に誠実に生きようとする者たちに、神はその信仰に応じて導きをくださるのです。私たちの歩みに困難なつきものです。だからといって、嘆き悲しんで自己憐憫に陥るような後ろ向きの生き方ではなく、神の祝福を信じて誠実に生きようとする者に神は道を備えてくださるのです。

## ●アドベントと師走と

～今週の声～

キリスト教会は教会暦というものを大切にしてきました。プロテスタント教会は「信仰のみ、聖書のみ」ということを重んじてきましたから、どちらかという、暦に関係なく生きているようなところがあります。しかし、人はともするとダラダラと緊張感や季節感なく時を過ごす傾向を持っています。暦を覚えるということは、時の流れを意識し、神の恵みを数え、感謝を数えて心に刻むという大切なことだと思います。

その中でも、クリスマスとイースターは特別な祝いとして、祝ってきました。そして、もう一つ加えるのは聖霊降臨日であるペンテコステです。そして、それに関わる待降節(アドベント)と受難節。それは私たちの救いであり、信仰のすべてである主イエス・キリストのみわざに関わることだからです。神が私たちの救いのために何を与えてくださったのかを心に刻むのです。

今年のアドベントは特別です。例年であればこの機会に周りの人たちに福音を伝える時として、そして、師走ということもあって、幾分慌ただしく過ごします。ところが、今年はコロナの中にあって思うように動くことができません。その分、少し時間がゆっくりとあるのではないのでしょうか。それだったら、その分、静かにみことばと向き合うのもよし。恵みを振り返って自分の信仰生活を文字に表すのもよし。手紙やメールを誰かに送るのもよし。そのようにしてアドベントの期間を過ごすのもよいのではないのでしょうか。

そして、クリスマスが終われば、すぐに新年です。普段の生活はいつも追われています。そして、流されたまま過ぎていくのが私たちの日々です。そこに、暦を覚え、恵みを確認して心に刻み、感謝の祈りを献げ、迎える新年への祈りを加える。そのようにして迎える月を過ごすことができたならば、確かにコロナ「禍」を転じて、神の恵みと変えることができるのではないのでしょうか。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●11/30 (月) 詩篇87篇

ラハブとバビロン、ペリシテとツロ、みな異邦の町。それらもが加えられる恵みが歌われています。私たちもそう加えられたことを喜びましょう。

### ●12/1 (火) エレミヤ51:45-64

バビロンが倒される日、そこに捕囚になっている民に対して45節のように語られます。ことは周りで起こります。それに左右されないために必要なことは何でしょうか。

### ●12/2 (水) エレミヤ52:1-16

この章の出来事は39章にもでできます。それからバビロンで起こることが語られ、再び出来事を見ると、みことばを聞き、悔い改めを迫られてはいても、耳が塞いでいるゼデキヤの姿が重なります。あなたは主のことばにどのように聞き従うべきでしょうか。

### ●12/3 (木) エレミヤ52:17-34

エルサレムの宝は持ち去られ、民の多く、それも主だった人たちはみな捕らえ移されます。エホヤキンは実に37年間、獄屋につながれますが、そこで釈放され、高い位につくようになります。長い年月、忍耐を強いられた彼がそのようにされたとき、何を思ったでしょうか。あなただったら、どうでしょうか。

### ●12/4 (金) ホセア1章

ホセアは神に自身の結婚生活を通して、それになぞらえられる神とイスラエルとの関係を預言するように招かれます。その子にイズレエル、ロ・ルハマ(注参照)と名付けるように命じられます。その名を呼ぶ度に思い起こされる記憶。彼の立場に立ってそれを受け止めてみましょう。

### ●12/5 (土) ホセア2章

「愛されない者」を愛し～という最後の23節を繰り返して心に刻んでみよう。世では姦淫の女を赦し受け入れることなど考えもつかない。しかし、神はそうではなく、恵みにこたえられることを覚えよう。

### ●12/6 (日) ヘブル1:1-4

預言者たち、それは旧約です。そして、この終わりのときは新約の時代です。御子がどのような方だと語られていますか。それは、創造者、神そのもの。ヘブル人、それはユダヤ人にそれを思い起こさせることはどのような意味を持ちますか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお返しください。

## ●今週の祈り

P53-54 筑波キリスト教会、岩井キリスト教会、まきばキリスト教会、谷田部キリスト教会(以上茨城県)



## 今週のみことば

ルツ 4:14 -15a 女たちはナオミに言った。「主がほめたたえられますように。主は、今日あなたに、買い戻しの権利のある者が途絶えないようにされました。その子の名がイスラエルで打ち立てられますように。」